

## 資料編 - 7

### 基礎立ち下げ関係工事監理・工事施工状況（添付）報告書

基礎立ち下げ関係工事監理・工事施工状況（添付）報告書

本報告書は、中間検査時に提出する建築基準法第 12 条第 5 項に基づく（工事監理・工事施工状況）報告書に添付して提出して下さい。

建築確認済証番号	平成 年 月 日 第 H 確認〔更〕建築横浜 部	号
建築主、工事監理者、工事施工者は、建築基準法第12条第5項に基づく報告書のとおりです。		

- 【注意】 1. 事情により、建築確認時までには地盤調査を実施していない場合は、工事着手前に調査を行い、地盤調査結果報告書を、事前に提出して下さい。（但し、周辺の標準貫入試験等の資料があり、支持層等に变化がないことを確認している場合を除く）
2. 基礎立ち下げ工法等、建築確認時の内容を変更する場合は、事前にご相談の上、必要に応じ変更手続きをして下さい。

本報告書は、基礎立ち下げの種別により下記のように分かれていますので、該当する欄に、チェックの上記入して下さい。

種別	内 容	チェック結果 ( 1...裏面 )
直接基礎	1. 立ち下げ基礎部の所要地耐力 斜面の影響を受ける場合は、その所要地耐力	適 ・ 不
	2. 立ち下げ基礎の深さ、厚さ、ベース幅、厚さ等各部寸法	適 ・ 不
	3. 立ち下げ基礎の配筋（鉄筋径、間隔、定着、かぶり厚さ等）	適 ・ 不
杭基礎	1. 杭工法、杭材種、杭径、杭長及び杭体の状態（ 2...裏面）	適 ・ 不
	2. 支持地盤への根入れ長さ及び杭長（がけの安定角度線以深への根入れ長さ） （ 2...裏面）	適 ・ 不
	3. 支持地盤の確認と貫入止め管理 （管理方法： _____）	適 ・ 不
	4. 〔部分杭基礎の場合〕がけ内側の直接基礎の支持地盤の所要地耐力	適 ・ 不
	5. 基礎梁等の配筋（主筋径、本数、あばら筋の径 間隔、かぶり厚さ等）	適 ・ 不
	6. 杭の継手 （継手工法： _____）	適 ・ 不
	7. 杭の鉛直精度	適 ・ 不
	8. 杭の芯ずれ状況	適 ・ 不

《裏面もあります》

種別	内 容	チェック結果 ( 1 )
地盤改良 (浅層混合処理工法 3)	1. 固化材は地盤種別(砂質土、粘性土、ローム層等)に適合	適・不
	2. 改良地盤の設計基準強度 (原則として材齢7日室内配合試験一軸圧縮強度: $q_{u7} > 300 \text{ kN/m}^2$ )	適・不
	3. 改良深さ(現地表面より2m程度以内)	適・不
	4. 改良範囲(基礎スラブ端から外側へ改良厚さの1/2程度以上)	適・不
	5. 改良下部地盤の所要地耐力 斜面の影響を受ける場合は、その所要地耐力	適・不
	6. [部分改良の場合] がけ内側の直接基礎の支持地盤の所要地耐力	適・不
	7. 固化材配合量(納入量、使用量、添加量)	適・不
	8. 固化材の散布、混合状況(均一に散布し、色斑がなくなるまで充分混合する)	適・不
	9. 転圧・締め固め状況(一回の改良厚は50cm程度以下、転圧状況・回数等確認、水が不足する場合散水等行う)	適・不
	10. 改良地盤の品質検査結果 (品質検査方法: )	適・不

設計図書の内容について設計者に確認した事項

--

指示記録( 4 )

項目番号	指 示 内 容

(注意事項)

- ( 1 ) 欄 : 各項目をチェックし、適合は「適」に 印、適合していないものは「不」に 印を記入して下さい。(該当しない項目は記入しないで下さい)
- ( 2 ) 欄 : 杭径、杭長の変更がある場合は、資料を提出して下さい。
- ( 3 ) 欄 : 深層混合処理工法を採用した場合には、別途工事監理・工事施工状況報告書(施工記録等提示要)を提出して下さい。
- ( 4 ) 欄 : 確認事項の内、指示した事項があれば、その項目番号と内容を記入して下さい。

注意 : この報告書を提出する時に、関係する下記の資料を提示して下さい。

ミルシート等杭材料関係資料、固化材の配合、圧縮強度試験結果等資料、地盤調査結果資料、その他基礎立ち下げにかかわる施工管理記録、及び施工記録写真等の施工関係資料